# 主要施策名:(1)道路交通体系の整備

## 事務事業本数:6

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課	
		(1)広域交通ネット ワークの整備	411-1	道路改良推進事業	建設課	
		(2)生活道路網の整 備	412-1	道路新設改良事業	建設課	
④便利で快適な	(1)道路交通体	(1)広域交通ネット ワークの整備	111-7 【建全省本权债税会公行金书单(42次			
都市づくり	系の整備		412-2	道路維持事業	建設管理課	
		(2)生活道路網の整 備	412-3	防災·安全交付金事業(道路)	建設管理課	
			412-4	橋りょうメンテナンスサイクル事業	建設管理課	

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称		路改良推進事業			所	管課	[:	2]	建設課	Į			
学が学来の行が 【1】	(是)	<b>山以及</b> 淮延争未			評価者	(担当	(者		春田賢	:=,	西山	l美和	
		基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり									重点	
総合計画での位置付け		主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備									施策	[4]
[3]		施策区分	(1)広域交通ネットワークの整備										核当
<b>☆15 ○ 1</b> 0 lbs		市長公約	新市建設計画【	年度	予定	:	金	額			0	千円】	
実施の根拠 (複数回答可)		法令、県·市条例等	【  道路法							]			
(IXXIII 197 [5]		その他の計画【	公共施設等総合管理計画					]		該	当なし	L	
事業区分		ソフト事業	□ 義務的事業 □ 建設・整	備事	業		施設	り	維持管	理事	業		
<del>事</del> 来区力 【6】		内部管理事務	□ 計画等の策定事務										
会計区分 [7]		一般会計 🗆	特別·企業会計【			]	款	8	項 2	目	1	細目	1

## 《事務事業の目的》

	生活道路の改善のために市道認定を行い、新設改良等を行なう必要がある。また、国道や県道等の期成会での要望活動を通じて早期整備を求める。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民(地域住民や来訪者)
	市道等の改良を推進して、道路の安全性を図るとともに国道や県道等の早期整備を実現させ、利便性の向上を図る。

#### 《事務事業の概要》

ハナルナスマルルスパ						
事業期間	□ 単年度のみ	■ 単年度繰返し	口 期	間限定複数年度		
争未朔间 【11】	【   年度】	【 H17 年度から】	ľ	年度~	年度まで】	
事業主体 [12]	□国□県	■ 市 □ 民間	□ そ	·の他【		1
実施方法 [13]	■ 直営 □ 全部委託	·請負 ■ 一部委託·請負 □ 補助	力金等交付	■ その他【	負担金	]
			【15】 事	務事業を構成する	細事業(7)本	
	・道路新設改良等による市道の記・国道及び県道整備における期に ・道路台帳の修正業務を行う。	認定業務を行う。 成会への負担金支払業務を行う。	(1	市道認定に関する	る業務	
事務事業の具体的内容	・県市協定で位置づけられた(仮 備に伴う高瀬地区及びその周辺		期成会等負担金	支出業務		
[14]	討する業務を行う。		3	道路台帳修正業務	<b>務委託事業</b>	

				H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	全体計画
	事	国庫支出金	%	0	0	0	0	0
	業	県支出金	%	0	0		0	0
		起債		0	0	0	0	0
	Ŧ	受益者負担		0	0	0	0	0
投	円	その他		0	0	0	0	0
入っ	$\smile$	一般財源		628	6,685	11,370	21,189	0
ス		[16] 小 計		628	6,685	11,370	21,189	0
۲		[再掲]臨時·非常勤職員人作	‡費(千円)	0	0	0	0	
	職人	職員人工数		0.15	0.70	0.30	0.30	
	員件	職員の年間平均給与額	頂(千円)	5,871	5,925	5,925	5,925	
	の費	【17】 小 計		881	4,148	1,778	1,778	
		슴 計		1,509	10,833	13,148	22,967	

# **《事務事業の手段と活動指標》** [18]

I	事	務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
	1		市道の認定及び廃止等の処理 を行う。			1	2	2	0
	2	期成会等負担金支出業務	負担金を支出することにより業 務の遂行を図る。	負担金支出回数		6	6	6	6
	3	道路台帳修正業務委託事 業	道路台帳の修正業務を行う。	市道修正路線件数	件	80	91	103	90

## **《コスト評価による年度比較》** [19]

$\Box$		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
ス	対象(道路台帳修正延長)	7	8	15	10
<u> </u>	投入コスト合計(千円)	<b>ヘコスト合計(千円)</b> 1,509 10,833		13,148	22,967
評	対象1単位あたりのコスト(千円)	216	216 1,354		2,297
価	コスト評価(対前年比)	***	15.92% (↓)	154.49% (↑)	38.16% (↓)

#### **≪事務事業の成果≫** [20]

 3. 355 3. 514 - 0 3545/4 22						
成甲七堙(帝図の物値ル)	(意図の数値化) 計算方法又は説明 単		H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 道路台帳修正実施率	道路台帳の修正延長/市道認定(廃	%	100	100	100	100
<b>超超日限修工关心</b> 平	止)延長	70	94	100	100	
* 成果未達成時の理由		-	-			

#### 《事務事業の評価》

** <del>7-</del> 7.	<i>寄争 来 の 評 個 ≫</i> 評価の視点 評価の視点 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	評価結果					
	■・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価					
	□・法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	a 高い					
_	□・市が事業へ関与する必要が薄れている	a <sub>同い</sub> b やや高い					
妥 当 性	 □・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	c やや低い					
当性	 □ ·利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	d 低い					
	□・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である						
[21]	□・事業開始当初の目的から変化してきている	b					
	□・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない						
	■・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価					
ᄼ	□ ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	a 高い					
効 率	□□・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	b やや高い c やや低い					
性	□□・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	d 低い					
[22]	■・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	а					
1221	□・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある						
	■・成果指標を設定している	有効性評価					
	■・成果指標の目標値を達成した	a 高い					
有	□ ·現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b やや高い					
有 効	□ ·手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	c やや低い d 低い					
性	■・法定事務であり成果は求めにくい	G 15.0					
[23]	□ ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	b					
	□ ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □						
۸.	□ ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある						
公 平	□ ・受益者負担がある ⇒ □・金額が妥当 □・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %	]					
· 性	■・受益者負担が無い ⇒ □・設定できる ■・設定できない理由( 市が行う事業であるため )	[24]					

# 《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

育	が回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【25】	特になし				
	今後の方向性 [26]	<ul><li>□ 拡充して継続</li><li>□ 執行方法の改善</li></ul>	■ 現状のまま継続 □ 休止・廃止	□ 縮小して継続	総合判定	Α
				改良された部分全ての修正委託業系 中生活道路の改善には必要であるの		

広域ネットワークの整備には、期成会を通じた活動が必要不可欠である。また、道路台帳の修正業務	評価責任者
 においても当該年度行った市道新設・改良等箇所を最新の情報にしておくために今後も継続して行う 必要がある。	田代史典

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称		路新設改良事業		所管	<b>管課</b>	[2]	建設課				
デが手来の行が 【1】	坦	山利政以及于未		評価者(	担当者	)	松本浩	=			
		基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり							重点	
総合計画での位置付け		主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備							施策	[4]
[3]		施策区分	(2)生活道路網の整備							■ 該	核当
## <b>#</b> ###		市長公約  ■	新市建設計画【 H17~H37 年	度予定	:	額	5,5	585,3	80	千円】	
実施の根拠 (複数回答可)	-	法令、県·市条例等	【  道路法、土地収用法					]			
[5]		その他の計画【	地元区長からの陳情書、要望書			1		該当	なし	,	
事業区分		ソフト事業	□ 義務的事業 ■ 建設·整備	事業	□ 施	没の	維持管理	里事	業		
サネビカ 【6】		内部管理事務	□ 計画等の策定事務								
会計区分 [7]		一般会計 🗆	特別·企業会計【		款	8	項 2	目	3	細目	1

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) [8]	地元からの要望に対して、市道の幅員狭小、その他交通障害などを改善していく必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	道路利用者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	快適な道路環境や安全性を確保する。

## 《事務事業の概要》

事業期間	□ 単年度のみ ■ 単年度繰返し			間限定複数年度	
争未粉间 【11】	【   年度】	【 H17 年度から】	[	年度~ 年度まで	§]
事業主体 [12]	□国□県	■ 市 □ 民間	□ そ(	の他【	]
実施方法 [13]	□ 直営 □ 全部委託·	·請負 ■ 一部委託·請負 □ 補助	金等交付	□ その他【	]
			【15】 事	務事業を構成する細事業( 6	)本
	地元西切竿太平は 図名座の言	い順に拡幅、路面舗装などの改良事	1	市道新設改良設計委託事業	ŧ
事務事業の具体的内容	業を実施する。	い順に加幅、好画研表などの以及争		市道新設改良事業	
[14]			3	市道新設改良工事用地購入	事業

				H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	全体計画
		国庫支出金	%	0	0	0	0	0
	業	県支出金	%	0	0	0	0	0
		起債	95	389,200	322,300	503,000	435,600	0
	〜 千	受益者負担		0	0	0	0	0
投	円	その他		0	0	0	0	0
入っ	)	一般財源		20,555	17,417	26,574	23,248	0
ス		[16] 小 計	•	409,755	339,717	529,574	458,848	0
۲		[再掲]臨時·非常勤職員人	件費(千円)	0	0	0	0	
	職人	職員人工数		2.00	2.30	3.50	3.50	
	員件	職員の年間平均給与	額(千円)	5,871	5,925	5,925	5,925	
	の費	【17】 小 計		11,742	13,627	20,738	20,738	
		合 計		421,497	353,344	550,312	479,586	

#### **≪事務事業の手段と活動指標≫** [18]

	事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
(	市道新設改良設計委託事業	現道の測量・計画路線の設計 を委託する。	委託発注件数	件	33	26	30	4
	② 市道新設改良事業	道路改良工事を発注する。	工事発注箇所数	箇所	39	22	37	28
	市道新設改良工事用地購入事業	計画路線に伴う用地の買収を行う。	用地買収件数	件	64	56	68	153

## **《コスト評価による年度比較》** [19]

П		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算		
ス	対象(整備路線数 )	29	22	37	28		
<u> </u>	投入コスト合計(千円)	421,497 353,344		550,312	479,586		
評	対象1単位あたりのコスト(千円)	14,534	16,061	14,873	17,128		
価	コスト評価(対前年比)	***	90.49% (↓)	107.99% (↑)	86.84% (↓)		

## **≪事務事業の成果≫** [20]

	成用指揮(音図の数値化)	成果指標(意図の数値化) 計算方法又は説明 単位		計算大法又付證明 単位		H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
	八米伯保(息凶の数値化)			H27実績	H28実績	H29実績			
	1 整備路線数	整備した市道の路線数	箇所	50	30	28	28		
	<b>正 佣 더 秋 女</b>	正開じた111年の四級数 国内		29	22	37			
	2								
Ľ									
	* 成里未達成時の理由		-		•	•			

#### 《事務事業の評価》

		<del>、米の肝臓の</del> 評価の視点	評価結果					
		・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価					
		・法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	a 高い					
177	□・市が事業へ関与する必要が薄れている							
妥 当 性		・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	c やや低い					
性		・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	d 低い					
		・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	b					
[21]		・事業開始当初の目的から変化してきている	D					
		・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない						
		・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価					
ᄼ		・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	a 高い b やや高い					
<i>双</i> 率		・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	c やや低い					
効 率 性		・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	d 低い					
[22]		・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	b					
1221		・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある						
		・成果指標を設定している	有効性評価					
		・成果指標の目標値を達成した	a 高い					
右		・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b やや高い					
有 効		・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	c やや低い d 低い					
性		・法定事務であり成果は求めにくい	a patr					
[23]	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している							
1201		・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b					
		・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある						
公 平		·受益者負担がある ⇒ □ ·金額が妥当 □ ·金額が高すぎる、または安すぎる ·負担率【 0.00 %】						
性		・受益者負担が無い ⇒ □ ·設定できる □ ·設定できない理由( )	[24]					

# 《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

Ē		事業実施の優先度の選考 確化し効率的な整備促進を		、内容等の検討が実施できなかった	た。要望に対する	優先度を明
	今後の方向性 [26]	<ul><li>□ 拡充して継続</li><li>■ 執行方法の改善</li></ul>	□ 現状のまま継続 □ 休止・廃止	□ 縮小して継続	総合判定	Α
	今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容		網再編検討業務も見据えて、道路	<b>各整備要望に対する明確な優先基</b> 準	<b>準や実施基準等</b> (	の検討を行っ

		評価責任者
評価責任者(課長)の所見 【27】	事業実施の優先度等の透明性を確保するため基準等の整備を行っていく必要がある。	田代史典

# 事務ふりかえりシート

#### 《基本情報》

事務事業の名称 社会資本整備総合交付会			全車業(道路)		所管課 [2		2]	] 建設課						
事務事業の有物 【1】	TI	<b>云貝</b> 本走	]並爭未(追陷)			評価者	(担当	(者		植田暁	人、	池田	篤志	
		基本目標(章)	④便利で快適な都市	づくり									重点	
総合計画での位置付け		主要施策(節)	(1)道路交通体系の	整備									施策	[4]
[3]		施策区分	(1)広域交通ネットワ	一クの整備										核当
# <b>6 11 1</b> 11		市長公約  ■	新市建設計画【	H17~H32	年月	<b>き予定</b>	:	金	額	4,4	144,5	590	千円】	
実施の根拠 (複数回答可)		法令、県·市条例等	【 道路法、土地収	(用法、河川法	Ė						]			
(IXXIII 197) [5]		その他の計画【	社会資本整備総合	交付金					]		該旨	当なし	,	
事業区分		ソフト事業	□ 義務的事業	■ 建設・	整備	事業		施設	との	維持管理	里事	業		
→ → ボビカ 【6】		内部管理事務	□ 計画等の策定事	務										
会計区分 [7]		一般会計 🗆	特別·企業会計【				]	款	8	項 2	目	3	細目	18

#### 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(ど のような問題又はニーズが あるのか) [8]	玉名市は、東西方向を横断する多様な道路を有しているが南北方向を縦断するアクセス道路に乏しい。中心市街地 へのアクセス道路や物流・観光・緊急輸送路としての道路網の整備が必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	道路利用者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	各拠点をつなぐ、それぞれの地域の実情に沿った道路の整備を行う。

## 《事務事業の概要》

事業期間	□ 単年度のみ □ 単年度繰返し	■ 期間限定複数年度
争未朔间 【11】	【 年度】 【 年度から】	【 H17年度 年度~ H32年度 年度まで】
事業主体 [12]	□国□県■市□民間	□ その他【 】
実施方法 [13]	■ 直営 □ 全部委託·請負 ■ 一部委託·請負 □ 補助	助金等交付 □ その他【 】
		【15】 事務事業を構成する細事業(10)本
	・【岱明玉名線】県道長洲玉名線からJRを高架し国道208号までの区間の道路整備を行う。L=1100、W=14.5・【小浜繁根木線】JR砂天神踏切付近の道路拡幅を行う。L=280、W	① 岱明玉名線道路整備事業(補助)
事務事業の具体的内容	=10 ・【松木14号線】小浜繁根木との交差点の改良を行う。	② 小浜繁根木線道路整備事業(補助)
[14]	・【竹崎1号線】1車線から2車線道路へ道路拡幅を行う。L=70、W=7	③ 松木14号線道路整備事業(補助)

				H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	全体計画
	事	国庫支出金	— %	63,712	41,100	52,221	182,751	1,488,905
	業 費	県支出金	%	0	0 0		0 0	
		起債	95	212,472	194,000	373,820	554,400	2,304,200
	Ŧ	受益者負担		0	0	0	0	0
投	円	その他		0	0	0	0	0
入っ	$\smile$	一般財源		11,423	10,581	19,963	29,440	131,289
ス		【16】 小 計		287,607	245,681	446,004	766,591	3,924,394
۲		[再掲]臨時·非常勤職員人件費(千円)		625	613	1,214	1,221	
	職人	職員人工数		2.30	1.70	1.70	0.85	
	員件	職員の年間平均給与額	碩(千円)	5,871	5,925	5,925	5,925	
	の費 [17] 小			13,503	10,073	10,073	5,036	
		슴 計	·	301,110	255,754	456,077	771,627	

#### **≪事務事業の手段と活動指標≫** [18]

	事務	事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
I		明玉名線道路整備事業 輔助)	本線、国道、県道、JR橋等の 工事を行う。	整備延長	m	250	93	215	384
		浜繁根木線道路整備事 (補助)	本線、JR踏切等の工事を行 う。	整備延長	m	200	28	473.7	ı
I		木14号線道路整備事業 補助)	本線等の工事を行う。	整備延長	m	0	0	112.2	_

## **《コスト評価による年度比較》** [19]

	П		H27年度決算	H28年度決算	[	H29年度決	算	H30年度予	算
	ス 対象(整備延長の合計 )		0	0		0		0	
		投入コスト合計(千円)	301,110	255,754		456,077		771,627	
	评	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0		0		0	
11	西	コスト評価(対前年比)	***	0.00% (	(-)	0.00%	(-)	0.00%	(-)

## **≪事務事業の成果≫** [20]

	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明 単		H27目標	H28目標	H29目標	H30目標		
	次末指標(息色の数値化)			H27実績	H28実績	H29実績			
-	岱明玉名線の整備率	計画整備率	%	53.6	57.3	72.2	80.0		
	山り立つ家の主備平	(事業費ベース)	70	53.6	55.9	67.1			
,	小浜繁根木線・松木14号線・竹崎1号線の	全体計画整備率	%	34.3	67.3	100			
4	整備率	(事業費ベース)	70	33.8	69.9	100			
	* 成果未達成時の理由 落札による当該年度事業費の減少と、総事業費の見直しによる全体事業費の増加に伴う、進捗率の低下。								

《事務事業の評価》

<b>N 尹</b> (	<i>等事業の評価≫</i>	
	評価の視点	評価結果
	□・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価
	□・法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	a 高い
	□・市が事業へ関与する必要が薄れている	b やや高い
妥业	□・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	c やや低い
当性	□・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	d 低い
-	□・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
[21]	□・事業開始当初の目的から変化してきている	b
	□・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
	□ ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価
<b>⊹.</b> ⊾	■・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	a 高い
効 率	□・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	b やや高い c やや低い
性	□ ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	d 低い
[22]	■・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	а
[22]	□ ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	a
	■・成果指標を設定している	有効性評価
	□□・成果指標の目標値を達成した	a 高い
+	□ ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b やや高い
有効	□ ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	c やや低い
性	□・法定事務であり成果は求めにくい	d 低い
[23]	□ ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	С
[23]	□ ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	Č
	□ ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公亚	□ ・受益者負担がある ⇒ □ ・金額が妥当 □ ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %	]
平 性	□・受益者負担が無い ⇒ □・設定できる □・設定できない理由( )	[24]

# 《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

育	が回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 [25]	近接工事や関係機関との協議を行い、工程の調整を行い施工に遅れが生じ	ないよう注意する。	
	今後の方向性 [26]	□ 拡充して継続 ■ 現状のまま継続 □ 縮リ □ 執行方法の改善 □ 休止・廃止	いして継続 総合判定 C	
	今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	整備方針について策定完了したので、スケジュール管理を行い、計画的に段	階的に工事を進める。	

		評価責任者
評価責任者(課長)の所見 【27】	重要な路線であるため、早期整備を目指し継続して行う必要がある。	田代史典

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称	泽	路維持事業						Ē	听管課	[:	2]	建設管	理語	果			
事初争来の石が 【1	] [	如此可予未						評価を	≸(担≦	当者)		柴尾	香縋	Ì			
		基本目標(章)	41	便利で快適な都市つ	づくり										重.		
総合計画での位置付け		主要施策(節)	(1	) 道路交通体系の整	<b>Ě備</b>										施:		[4]
[3	זן	施策区分	(2	)生活道路網の整備	青											該	当
		▮ 市長公約 □	新ī	市建設計画【			年月	<b></b>	:	金	額			0	千円	]	
実施の根拠 (複数回答可)		▮ 法令、県·市条例等	≨【	道路法、玉名市道路	各占用	料徴収	条例	、玉名市流	<b>法定外</b>	公共特	勿管	理条例	]				
	] [	〕その他の計画【									]		該	当な	L		
事業区分		〕ソフト事業		義務的事業		建設∙	整備	事業		施設	との	維持管	理事	業			
→未四刀 【6	] [	〕内部管理事務		計画等の策定事務	务												
会計区分 [7	]	Ⅰ 一般会計 □	特	寺別·企業会計【					]	款	8	項 2	目	2	細	目	1

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) [8]	道路管理者は、道路を常時良好に保つよう維持・修繕し、一般交通に支障を及ぼさないようにしなければならないという責務を負っていることから、道路及びこれに付帯する施設の機能を維持する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	道路利用者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	道路利用者の安心・安全のため、玉名市道の維持管理・街路樹等の整備を行い、良好な交通環境を維持する。

## 《事務事業の概要》

事業期間	□ 単年度のみ	■ 単年度繰返し	□其	<b>明間限定複数年度</b>		
争未朔间 【11】	【  年度】	【 H17 年度から】	ľ	年度~	年度まで】	
事業主体 [12]	□国□県	■ 市 □ 民間	□ ₹	の他【		]
実施方法 [13]	■ 直営 □ 全部	『委託·請負 ■ 一部委託·請負 □ 補助	助金等交付	け □ その他【		]
			【15】 事	幕務事業を構成する	<b>治細事業(21)本</b>	
	麻蚌・少ル   改売出りが	張化した道路の修繕や道路の除草作業など	(	市道維持修繕事	業	
	玉名市道の維持管理を行			市道除草業務委	託事業	
[14]				道路維持工事請	負事業	

				H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	全体計画
	事	国庫支出金	%	0	0	0	0	0
	業 費	県支出金	%	0	0	0	0	0
		起債	95	65,000	109,125	167,600	159,400	0
	Ŧ	受益者負担		0	0	0	0	0
投	円	その他		0	0	0	0	0
入っ	$\smile$	一般財源		128,496	189,613	171,136	200,979	0
ス		[16] 小 計		193,496	298,738	338,736	360,379	0
۲		[再掲]臨時·非常勤職員人件費(千F		0	0	0	0	
	職人	職員人工数		3.00	4.69	3.54	3.54	
	員 件	職員の年間平均給与額	額(千円)	5,871	5,925	5,925	5,925	
	の費	【17】 小 計		17,613	27,788	20,975	20,975	
		슴 計		211,109	326,526	359,711	381,354	

#### **《事務事業の手段と活動指標》** [18]

	事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
	1 市道維持修繕事業	劣化等した道路の修繕を行う。	道路修繕箇所	箇所	85	85	151	100
(	② 市道除草業務委託事業	委託により道路の除草作業を 行う。	市道除草委託業務面 積	m <sup>*</sup>	303861	304761	306370	354307
	③ 道路維持工事請負事業	劣化等した道路工事を行う。	工事件数	箇所	8	8	41	33

# **《コスト評価による年度比較》** [19]

П		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
ス	対象(市民)	68060	67577	67577 67242	
-	投入コスト合計(千円)	211,109	326,526	359,711	381,354
評	対象1単位あたりのコスト(千円)	3	5	5	6
価	コスト評価(対前年比)	***	64.19% (↓)	90.32% (↓)	93.77% (↓)

#### **≪事務事業の成果≫** [20]

	2 10 1 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1										
	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明		H27目標	H28目標	H29目標	H30目標				
	次末11保(忌凶の数値化)			H27実績	H28実績	H29実績					
-	市道舗装工事延長	舗装工事を行った延長	m	_	_	_	2741				
		研表工事を11つに延長	111	1315.1	2017.8	3714.3					
,	· 未登記関係処理件数	未登記関係の処理件数	件	5	5	5	8				
Ľ	<b>,一个显出国际处理计数</b>	不 <b>显</b> 配展际07处理件数	ΙΤ	4	8	8					
	* 成果未達成時の理由 成果指標の変更により目標値がないため										

#### 《事務事業の評価》

W <del>7-</del> 7	刀子	· · · · · · · · · · · · · ·	
		評価の視点	評価結果
		・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価
		・法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	a 高い
		・市が事業へ関与する必要が薄れている	b やや高い
妥 当 性		・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	c やや低い
性		・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	d 低い
		・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
[21]		・事業開始当初の目的から変化してきている	b
		・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
		・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価
<b>⊹.</b> ⊾		・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	a 高い
玆		・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	b やや高い c やや低い
効 率 性		・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	d 低い
[22]		・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	b
[22]		・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	Б
		・成果指標を設定している	有効性評価
		・成果指標の目標値を達成した	a 高い
+		・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b やや高い
有 効		・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	c やや低い
性		・法定事務であり成果は求めにくい	d 低い
[23]		・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	•
[23]		・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	С
		・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公 平		・受益者負担がある ⇒ □・金額が妥当 □・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	
性		・受益者負担が無い ⇒ □・設定できる ■・設定できない理由( 市が行う事業であるため )	[24]

# 《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

Ī	前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【25】	未登記関係等業務について	は計画的に処理を進めている。			
	今後の方向性 [26]	<ul><li>□ 拡充して継続</li><li>□ 執行方法の改善</li></ul>	■ 現状のまま継続 □ 休止・廃止	□ 縮小して継続	総合判定	С
	今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容		環境を維持するためにも、パトロー	ールの強化に努め、要望箇所につい	ては計画的に	修繕、工事を

		評価責任者
評価責任者(課長)の所見	道路維持に関する事業は、市民の安全を守る上で重要な事業であり、今後も継続する必要性がある。	二瀬哲也
[27]		一,积省也

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称	R±≤	災•安全交付金事業	()首敗)		所	管課	[	2]	建設	管理	課		
事物事業の有物 [1]	. נעו	火"女主义的亚争未	(坦대)		評価者	(担当	(者		柴尾	香織			
		基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり									重点	_
総合計画での位置付け		主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備									施策	
[3]		施策区分	(2)生活道路網の整備										該当
		市長公約	新市建設計画【	年月	度予定	:	金	額			0	千円】	
実施の根拠 (複数回答可)		法令、県·市条例等	【  道路法							]			
[5]		その他の計画【						]	[	□該	当な	し	
事業区分		ソフト事業	□ 義務的事業 ■	建設・整備	事業		施討	ኒのi	維持的	管理事	業		
<del>サ</del> 来区刀 【6】		内部管理事務	□ 計画等の策定事務										
会計区分 [7]		一般会計 🗆	特別·企業会計【			]	款	8	項	2 E	3	細目	12
《事務事業の目的》													
	I												

事務事業の実施背景(ど のような問題又はニーズが あるのか) [8]	玉名市道の道路舗装の危険な箇所を改善していく必要性がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	道路利用者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	快適な道路環境や安全性を確保する。

#### 《事務事業の概要》

事業期間	□単	単年度のみ		単年度	繰返し			期間	閒限定複数年度		
争未粉间 【11】	ľ	年度】	ľ	H24	年度から】		[		年度~	年度まで】	
事業主体 [12]	□ 国		. ■	市	□ 民間			その	他【		]
実施方法 [13]	□直	営 口 全	È部委託·請負	■ 一き	部委託·請負 🗌	補助	金等交	付	□ その他【		]
							[15]	事務	8事業を構成する	細事業(2)本	
	<b>农布州</b>	生状調査を基に、緊	双名 座の 言い 順に	- 败而쇞	はなのみ自恵業を	宝饰		1	防災•安全交付金	江事請負事業	
事務事業の具体的内容	する。	エ仏訓且と季に、タ	を心及の向い順!	一时田市	表の以及争未で	大心	⇒	2	防災·安全交付金	<b>全</b> 委託事業	
[14]								3			

				H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	全体計画
	事	国庫支出金	60 %	40,133	30,613	0	0	0
	業	県支出金	%	0	0	0	0	0
		起債	95	46,810	21,648	0	0	0
	〜 千	受益者負担		0	0	0	0	0
投	円	その他		0	0	0	0	0
入っ	)	一般財源		2,452	7,252	0	0	0
ス		[16] 小 計		89,395	59,513	0	0	0
۲		[再掲]臨時·非常勤職員人作	牛費(千円)	0	0	0	0	
	職人	職員人工数		1.55	1.50	0.55	0.10	
	員件	職員の年間平均給与額	額(千円)	5,871	5,925	5,925	5,925	
	の費	【17】 小 計		9,100	8,888	3,259	593	
		合 計		98,495	68,401	3,259	593	

#### **《事務事業の手段と活動指標》** [18]

	事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
C	防災·安全交付金工事請 負事業	現道の路面性状調査及び構造 調査等の委託する。	委託発注件数	件	2	1	0	0
	沙 防災·安全交付金委託事業	舗装工事を発注する。	工事発注件数	件	10	8	0	0
	3							

## **《コスト評価による年度比較》** [19]

П		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	
ス	対象(市民)	68060	67577	67242	66850	
-	投入コスト合計(千円)	98,495	68,401	3,259	593	
評	対象1単位あたりのコスト(千円)	1	1	0	0	
価	コスト評価(対前年比)	***	142.98% (↑)	2088.28% (↑)	546.45% (↑)	

#### **≪事務事業の成果≫** [20]

	7-323 3-274-0-32474 2-02	. 3. 450 A. NIA A. 1540 Mar. 71											
	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明単		H27目標	H28目標	H29目標	H30目標						
	次末11保(忌凶の数値化)			H27実績	H28実績	H29実績							
1	整備路線数	整備した市道の路線数	箇所	12	12	0	0						
_ '	- 川 山 小 双	歪 捕じた 川 垣 の		10	8	0							
2													
	* 成果未達成時の理由	-	<u>-</u>	=	•		,						

#### 《事務事業の評価》

	ルチ	えの計画と									
		評価の視点	評価結果								
		・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価								
		・法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	a 高い								
		<u> 上 パナ                                  </u>	b やや高い								
妥 当 性		NIN TIGINALITON ON LIANING TENINCO CV O	c やや低い								
性		・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	d 低い								
		・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である									
[21]		・事業開始当初の目的から変化してきている	b								
		・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない									
		・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価								
効 率 性		・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	a 高い								
			b やや高い c やや低い								
性			d 低い								
		・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない									
[22]		・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	а								
		・成果指標を設定している	有効性評価								
		・成果指標の目標値を達成した	a 高い								
+			b やや高い								
有 効			c やや低い								
性		・法定事務であり成果は求めにくい	d 低い								
[23]		・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している									
[23]		・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	С								
		・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある									
公亚		・受益者負担がある ⇒ □・金額が妥当 □・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】									
平 性		・受益者負担が無い ⇒ □・設定できる □・設定できない理由( )	[24]								

# 《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

育	が回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【25】	H29は事業実施なし				
	今後の方向性 [26]	<ul><li>□ 拡充して継続</li><li>□ 執行方法の改善</li></ul>	■ 現状のまま継続 □ 休止・廃止	□ 縮小して継続	総合判定	С
	今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	H29、H30は補助対象外の <i>f</i>	こめ事業実施なし。次年度の事業	実施のため準備を進める。		

	この事業については、交付金の条件等が厳しく本市では、今年度は取り組む予定はないが、平成31年	評価責任者
	度については、	二瀬哲也
[27]		

# 事務ふりかえりシート

#### 《基本情報》

事務事業の名称		りょうメンテナンスサ・	イクル事業		所	管課	[2]	建設	管理	課			
事務事業の有称 【1】	们	りょうグラナナンベッ・	ープル事本		評価者	(担当者	i)	中山	浩	文			
総合計画での位置付け		基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり								重		
		主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備								施		[4]
[3]		施策区分	(2)生活道路網の整備									該	当
		市長公約	新市建設計画【	年度	予定	: 🕏	金額			0	千円	]]	
実施の根拠 (複数回答可)		法令、県·市条例等	【 道路法、道路法施行令、道路法	施行	規則				]				
(15)		その他の計画【	玉名市橋梁長寿命化計画、玉名市公	共施	設等総合管	<b>管理計画</b>	Ī ]		]	核当な	L		
事業区分		ソフト事業	□ 義務的事業 □ 建設・整	備事	業	■施	設の	維持管	理	事業			
→未込力 【6】		内部管理事務	□ 計画等の策定事務										
会計区分 [7]		一般会計 🗆	特別·企業会計【			】	8	項	2	目 4	細	目	1

#### 《事務事業の目的》

のような問題又はニーズが	橋梁は平成26年の省令告示によりメンテナンスサイクル構築が義務化された。これは橋梁管理を事後保全型から予防保全型へ移行するものである。他市に比べ多くの橋梁 を管理する本市は、限られた予算と人員ではすべての老朽化橋梁を補修できない。しかし、管理者として優先順位の低い小規模橋の劣化を放置できない。そのため、廉価で 効果的な補修方法の立案として、玉名市独自の取組として①橋梁トリアージによる優先順位の明確化②直営施工によるコスト縮減を行い、橋梁の長寿命化を行っている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	橋梁利用者、市橋梁
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	市道路管理橋の長寿命化修繕計画の策定及び損傷度把握のための点検を実施し、橋りょうのメンテナンスサイクル に係る費用の縮減及び適切な橋梁資産の管理を図る。

## 《事務事業の概要》

***	□ 単年度のみ	■ 単年度繰返し	口 其	期間限定複数年度	
事業期間 【11】	【 年度】	【 H26 年度から】	[	年度~	年度まで】
事業主体 [12]	□国□	県 ■市 □ 民間	□ ₹	その他【	1
実施方法 [13]	■ 直営 □	全部委託·請負 ■ 一部委託·請負 □ 補	助金等交付	寸 □ その他【	1
			【15】 <del></del>	事務事業を構成する	細事業(6)本
				① 橋梁補修及び補	強工事事業(措置)
事務事業の具体的内容	橋りょう点検結果を基	kに、損傷度の高い橋梁から修繕等を図っていく。		2 橋梁補修設計及	び調査業務委託(措置
[14]				3 点検・診断事業	

				H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	全体計画
	事	国庫支出金	— %	34,602	55,750	48,645	52,800	0
	· 業 費	県支出金	%	0	0	0	0	0
		起債	_	36,100	22,800	41,196	80,200	0
	Ť	受益者負担		0	0	0	0	0
投	円	その他		0	0	0	0	0
入コ	$\sim$	一般財源		3,346	32,711	64,902	28,001	0
ス		[16] 小 計		74,048	111,261	154,743	161,001	0
-		[再掲]臨時·非常勤職員人作	井費(千円)	0	0	0	0	
	職人	職員人工数		0.00	0.00	4.10	4.10	
	員件	職員の年間平均給与額	碩(千円)	5,871	5,925	5,925	5,925	
	の費	【17】 小 計		0	0	24,292	24,292	
		合 計		74,048	111,261	179,035	185,293	

#### **≪事務事業の手段と活動指標≫** [18]

	事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
(	① 橋梁補修及び補強工事事 業(措置)	老朽化した橋梁の工事を行う。	工事発注橋梁数	橋	1	3	5	7
(		橋りょう維持請負工事を発注するための設計 等の業務を委託する。	業務委託発注数	本	7	1	5	8
(	③ 点検・診断事業	橋梁の点検・診断を行う。	点検・診断橋梁数	橋	9	491	193	133

## **《コスト評価による年度比較》** [19]

		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
ス	対象(市民)	68060	67577	67242	66850
-	投入コスト合計(千円)	74,048	111,261	179,035	185,293
評	対象1単位あたりのコスト(千円)	1	2	3	3
価	コスト評価(対前年比)	***	66.08% (↓)	61.84% (↓)	96.06% (↓)

# **《事務事業の成果》** [20]

	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	
	汉末拍徐(总因0)奴但化/	可异力及人员或功		H27実績	H28実績	H29実績		
1		橋梁措置(修繕・工事・架替)件数(措置完了数ではない) (H29年度末時点 保有数832橋)	橋	4	6	11	24	
	※橋りょう維持事業と橋りょう長寿命化事業を統合		TO.	4	11	63		
-								
_								
	*成果未達成時の理由							

#### 《車務車業の延備》

W <del>7-</del> 2	刀子	· · · · · · · · · · · · · ·	
		評価の視点	評価結果
		・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価
		・法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	a 高い
<u> </u>		・市が事業へ関与する必要が薄れている	b やや高い
安业		・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	c やや低い
妥 当 性		・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	d 低い
		・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
[21]		・事業開始当初の目的から変化してきている	b
		・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
		・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価
4.		・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	a 高い
郊		・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	b やや高い c やや低い
効 率 性		・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	d 低い
		・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	L
[22]		・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	b
		・成果指標を設定している	有効性評価
		・成果指標の目標値を達成した	a 高い
<i>_</i>		・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b やや高い
有 効		・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	c やや低い
性		・法定事務であり成果は求めにくい	d 低い
[23]		・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	h
[23]		・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	Ь
		・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公亚		・受益者負担がある ⇒ □・金額が妥当 □・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	
平 性		・受益者負担が無い ⇒ □ ・設定できる ■ ・設定できない理由( 市が行う事業のため )	[24]

# ≪前回からのふりかえり結果と今後の方向性≫

Ī		平成29年度より「橋りょう維持事業」と「橋りょう長寿命化事業」を統合し、橋梁メンテナンス事業としての実施が図られている。	て一本化し、計	画的な事業
	今後の方向性 [26]	□ 拡充して継続 ■ 現状のまま継続 □ 縮小して継続 □ 執行方法の改善 □ 休止・廃止	総合判定	Α
	フ仮の月間はに対する	H26年7月に道路法や道路法施行令・施行規則が改正され、全ての橋梁において、点検→診断→措メンテナンスサイクルが義務化されており、計画的に事業の実施を図っている。引き続き、橋梁等の化することを踏まえ、財源の確保・技術力の向上・人員不足の解消に努める。	情置→記録を5 道路構造物か	ヶ年毎に行う 「急速に老朽

		評価責任者
評価責任者(課長)の所見 【27】	橋梁事業については、市民の安全を守るために重要な事業であり、今後も継続する必要性がある。	二瀬 哲也
[27]		二瀬 哲也